



御存知ですか？ 物流の2024年問題

私は、ネット通販をよく利用します。皆さん方も利用されるのではないのでしょうか？しかしながら、今、「物流の2024年問題」と呼ばれる大きな問題が起きようとしています。

物流の2024年問題とは…

2024年4月からトラックドライバーの年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されます。労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、「モノが運べなくなる」可能性が懸念され、これが「物流の2024年問題」と呼ばれています。今、物流宅配業界では、ドライバーが不足しているのです。

ヤマト運輸がメール便の配達を日本郵便へ業務委託したという報道も出ていますが、この問題への対応の一環でしょう。

国の「持続可能な物流の実現に向けた検討会」では、「2024年問題」に対して何も対策を行わなかった場合には、営業用トラックの輸送能力が2024年には14.2%、さらに2030年には34.1%不足する可能性がある試算をしています。

輸送能力が不足すると、「荷主や一般消費者のニーズに応えられなくなり、今までどおりの輸送ができなくなる」ことや「輸送の遅延」などが起き、結果として「水産物、青果物など新鮮なものが手に入らなくなる」といったことも起きる可能性が出てきます。

私たち消費者ができることはないでしょうか？

この問題をただ単に物流業界の問題として他人事にしては、結局のところ消費者が困るばかりになります。これからも宅配や通販が利用できるようにしていくためには、消費者側の取り組みも欠かせないと思います。

例えば、確実に受け取れる日時・場所の指定、宅配ボックス・ロッカーの利用や置き配の推進など「再配達を減らす配慮」や「まとめ注文による運送回数の削減」もあるでしょう。また、ドライバーの労働環境改善や働き方改革に取り組むための適正な運賃を生み出す「標準的な運賃」への理解も必要だと思います。

※記事作成にあたり、公益社団法人・全日本トラック協会の資料やHPを参考にさせていただきました。



広島市安佐南区 土石流災害現場を調査

～土木建築委員会県外調査より～

今年度、私は土木建築委員会に所属していますが、9月4～6日にかけて、岡山・広島方面への県外調査に参加しました。その中から、広島市安佐南区八木地区の土石流災害現場から学んだことを報告します。

2014（平成26）年8月20日未明に広島市安佐南区と北区で、同時多発的に大規模な土石流が発生、多くの家屋を巻き込み、77名（災害関連死3名を含む）の方々が犠牲となりました。

広島市災害対策本部のまとめでは、土砂災害166ヶ所（土石流107ヶ所、がけ崩れ59ヶ所）が起きたそうです。【写真①と②】前夜からこの地区を中心に、ごく狭い範囲で線状降水帯が発生し、降水量が3時間で200ミリを超える記録的な集中豪雨が起きていたとのこと。



その後、国と広島県による大規模な災害復旧工事が行われ現在に至っています。

【写真③】

安佐南区八木地区には、昔から大蛇退治の伝説があり、この土地は「蛇落地悪谷」と呼ばれていたそうです。大蛇伝説は全国各地にあります。多くの場合、激しく水が流れ落ちる様や土石流を蛇に見立てたのが由来と言われています。つまり、以前から水害が語りつがれていたようです。

さらに、行政の責任も感じざるをえません。写真②と③の中にオレンジと赤の屋根瓦の集合住宅があるのわかりますか？実はこれは県営住宅。「県営住宅もできていることから、ここは安全だ」と考え家を建てた方も少なからずいたと地区の方は話されていました。

今年9月に、この災害の記録を後世に伝えようとこの地区に広島市豪雨災害伝承館ができました。

【写真④館内は撮影禁止だったため、入口で撮影】このような災害を再び起こさないため



にも、ここから学ぶことがたくさんあります。

日本は自然災害の多い国ですから、住まい選びに「防災」の視点は欠かせません。みなさん方も地域のハザードマップで再度、災害リスクのチェックをしてください。

私が所属しています県民クラブもHPを開設していますので御覧下さい。

セキュリティ強化のため、HPのアドレスが変わりました

大分県議会 県民クラブ

検索

<https://kenmin-club.com/>

